

単元案の概要

テーマ	
中国人観光客に九州を案内する	
目標	
学習レベル	3
○九州の観光名所や食べ物を中国語で紹介することができる。	
○楽しい旅のために適切なアドバイスをすることができる。	
○観光パンフレットを作成することができる。	
コミュニケーション能力指標	
【話題分野】	
交通と旅行	3-a 目的地までのアクセス方法を説明したりできる。
	3-d お勧めの旅行先について、理由を含めて語り合うことができる。(→説明する)
	3-f 自分の住んでいる地域の交通事情について、文章で説明できる。
自然環境	2-f 自分の住んでいる地域にある景勝地を口頭で紹介できる。(→書面で)
食	3-c 日本料理や自分の住んでいる地域の料理について文章で紹介できる。
学習シナリオ	
北九州市立大学中国学科2年『作文』クラスは中国人観光客向けの『観光パンフレットー九州版』を作成することとなった。	
活動の流れ：	
① 導入。	
・各自の住んでいるところの市役所・区役所から九州観光に関するパンフレットを収集（教員は中国で発行されている日本観光に関するパンフレットを）。	
・クラスでそれぞれのパンフレットを回覧、基本構成を確認、両国の違いを比較。	
・中国語版の作成意義を明確（出来上がったものは、1）本大学で配布、2）各県庁所在地の市役所・区役所に郵送、インフォメーションカウンターに置いてもらう）。	
② グループ分け。4～5人で1グループ、1県を担当する。	
③ 役割分担。	
・グループでパンフレットの構成（①観光地及びアクセス方法、②名物、③旅のアドバイス、④豆知識、・・・）、紹介したい内容について議論する。	
・各パーツの担当者を決める。	
④ 作業。	
・新単語及び表現難点をリストアップ、提出。	
・フィードバックを受ける。	
⑤ 中間報告。単語・表現リストの共有。	

⑥ 最終版を提出。相互評価を行う。

⑦ 結果報告。

- ・(日本語で)手紙を書き、関連機関に郵送。或はフィードバックを聞きに行く。
- ・(中国語で)アンケートを作成、中国人留学生にフィードバックを聞く。
- ・結果をクラスで報告。反省点をまとめる。

総括的評価

- ・ 情報：取り上げた情報が正確であるかどうか。
- ・ 文章力：伝えたい情報をわかりやすく表現することができたかどうか。
- ・ 成果物：魅力的であるかどうか。

3 × 3 + 3 分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	観光案内に関する語彙・表現がわかる。	・観光・食・買い物について、中国人の好み・傾向性がわかる。 ・異なる視点による作られたパンフレットの違いを知る。	
できる	観光案内について文章を書くことができる。	中国人観光客を配慮したパンフレットを作ることができる。	グループ間の協働ができる。
つながる	・語彙・表現リストを共有する。 ・グループ間を評価しあう。		パンフレットを地域に提供する。
三連携	連携1：個々人の趣味や得意分野を生かした活動 連携2：雑誌・パンフレットのデザインに関する知識の活用 連携3：本学留学生、区役所、市役所とつながる。		

評価ルーブリック

テーマ：中国人観光客に九州を案内する

指示文：

- ・中国人観光客向けの『観光パンフレットー九州版』を作成してもらいます。4～5人からなる1グループが1県の案内を担当しますが、各グループが作成したものを装丁し、最終的に『観光パンフレットー九州版』になります。
- ・グループの力を発揮し、中国人観光客に役立つものを目指しましょう。
- ・各グループの提示物は以下の基準で評価されます。

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
見た目の 面白さ・見やすさ	ビジュアルエイドを非常に効果に使い、興味をそそられ、見やすいものにしている。	ビジュアルエイドを適切に使い、ある程度面白い、見やすいものにしている。	ビジュアルエイドを使うが、面白さ・見やすさの助けはなっていない。	ビジュアルエイドがなく、面白さ、見やすさの工夫が必要である。
構成の わかりやすさ	利用者の視点を配慮したわかりやすい構成となっている。	利用者の視点を配慮し、ある程度わかりやすい構成となっている。	利用者の視点を配慮したが、わかりやすさを欠けるところがある。	利用者の視点ではなく、わかりやすさの工夫が必要である。
情報の 豊富さ・正確さ	取り上げた情報が豊富で、且つ正確である。	取り上げた情報は正確で、ある程度豊富である。	情報は正確だが、豊富さを欠けるか、豊富だが、正確さを欠ける。	情報の豊富さや正確さの工夫が必要である。
表現の 適切さ × 2	豊富な語彙・多様な文法・表現を適切に使っている。	必要な語彙・文法・表現をおおむね正しく使っている。	時々語彙や文法・表現の間違いが見られる。	語彙や文法・表現の間違いが多く、意味を伝えるのに苦労している。

目標の要素分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
目的地までのアクセス方法を説明する。	交通と旅行に関わる語彙や表現を用い、文章を作成することができる。	観光地及びアクセス方法・名物・旅のアドバイスなどについて、中国語で文章を書くことができる。	中国語で九州旅のパンフレットを作成することができる。
お勧めの旅行先について、理由を含めて説明する。			
自分の住んでいる地域の交通事情について、文章で説明する。			
自分の住んでいる地域にある景勝地を書面で紹介する。	自然環境に関わる語彙や表現を用い、文章を作成することができる。		
日本料理や自分の住んでいる地域の料理について紹介する。	食に関わる語彙や表現を用い、文章を作成することができる。		
キーワードやタイトル・枠・線などを適切に使う。	見やすいパンフレットを作成することができる。	ビジュアルエイドを使い、パンフレットを作成することができる。	
カラフルなイラストや写真をより美しく見えるように工夫する。	見ていて興味をそそられるパンフレットを作成することができる。		

学習者の個人的特性に対する対応

1. 学生 W

特性:

- ・可愛い女子学生。
- ・性格がよく、誰とも仲良くなれそう。
- ・勉強はそこそこ熱心だが、要領はそれほどよくない。小テストの成績は最下位が多い。間違いが注意されてもすぐ忘れる。

対応:

文章作成をメインに担当するように勧める。グループメンバーからフィードバックを受けながら、日ごろの間違いに気づいてもらう。

2. 学生 S

特性:

- ・勉強はあまり熱心ではない。
- ・成績は中の下だが、頑張る気がさえあれば、トップレベルにアップすることができる。
- ・遅刻や欠席が多い。

対応:

グループリーダーになるように勧める。グループをリードする責任を背負うことによって、自分への甘さに気づいてもらう。